ŧ

六・一五夜気会に向って怒涛の如く進撃した白へル部隊は高速運転付近で複動隊の駆止着を興力養養し、廃退用門に迫った

郵送読者の購読料 1部半年1500円・1年3000円 2部半年3000円・1年6000円 3部以上は送料当方負担

日帝の朝鮮新支配反対朝鮮戦争勃発二十周年

反帝国主義・反スターリン主義の族のもと 万国の労働者団結せよ!! 革命的共産主義者同盟

5時半明治公園

名の画明的な大動員をもってされ

小まえ、「十日間の連続闘争」は 十四・十五の連続闘争の成果に

でき過程に突入している。十八日 またはス・1 三は、そこで網起べき過程に突入している。十八日 またはス・1 三は、そこで網起いるのがなことはよく「アジア侵略」さかため、さらに大きに力を引き

6・25労学市民総決起集会

力の厳戒体制も、人民の終りを動一旦下全国各地で、各地域の労働者一へき過程に突入し

主催 入管体制粉碎東京実行委員会

市民団体に恫喝と変願を重ねてき

水氏 全国全共闘の鈴木優一氏、 会で始められ、六月行動委のもの のりとえ、堂々と賞徹されたので

民大統一行動は、全国から七万二千の大部隊を東京・代々木公園に結集し、首都を圧する大学モ 不動の縁勢をうちかためた。との六・一二 茎共同六集会の圧倒的成功をうけつぎ六・一四男学市 て一万二子を結集し、安保決戦を一大突破口に、七〇年代の内乱的死闘を断固勝利的に闘いぬく

六月決戦は勝利のうちに著をあけた。六・一二、憲共同六集会は日比谷野外音楽堂に開天をつい

穴・一四の大結集は「社共にかわる革命党」への全人民の嫌い期待が、われ

保粉砕・日滑打

統一集会は全国区戦の鈴木遠天 六月行動委員会の川島氏の司

自城したが、だが、全体のデモはない中途半端な「武陽」を試みて

動員をかちとったばかりだなく、行動が革命的左翼にとって最大の

人の規模で大衆的に確認したもの

的期待と現実的基盤 革命党建設への全人民

革命的共產主義者同盟機関誌

19号 250円(〒50)

主義者

七〇年闘争勝利のために

と安保粉砕・日帝打倒の闘いー帝国主義世界体制の解体的危機

共産

左翼の任務……本多延嘉 七〇年安保闘争と革命的 ■1月沖縄決戦と革命的共産主義運動 国朝鮮危機と日本帝国主義 リア党建設

- 六・一四大結集の示したもの―

日本階級闘争においても有数の戦 | 社共同党が安保闘争を放棄し

ョンと一服の道に転落してきたばから

もばやそれがまったくの体制

無視し、卑劣にもわが白へルの労 つ聞うことのできないML派は すら無視されてしまった。 またよ に小さくなり、全体からその存在 の結集で、サッカー場の金襴の中 た華マル派は、やっと、猫に入れ

しの反米愛国派の破壁と無線想に

脚的大衆デモンストレーションと

再度全国から総結集を

楽堂でひらかれた「梅美智子遠悼・労学市民大集会」、日北谷から国会南通用門-東京駅までの は翌十五日には、検問を突破してかちとられた東大・安田議営前大集会、夕方から日比谷野外首 を貫徹し、革命的左翼が七〇年代階級闘争を担う物質力を持つことを解かに見せつけた。この力

であることで、行動によって示すべく、われわれは六・二三安保総力数に会力あろう。 隊の規制を巨大な人民の湯で打ち破り、一大総力戦を貫徹しよう。 例」の総略級でもって、六月決戦の最後の戦闘である六・ニニに、再度合国の ている。これに反撃し、「日帝のアシア侵略を内乱へ転化せよ」「沖縄繁雄、 れていることながした。他方、政府は六月二十二日に安保全的継続の政府声明

六・一四に結集した力が、日待のアジア侵略に内配をもって対決する、敵闘

表別を持つもの 総括集し、機動

デモエードうけつがれ、さらに全国各地での十日間の連続的波状的闘争へと発展している。

徹した南通デモ 白ヘルのみが貫 展望と確信を与えたものであっ 力者となりつつあるととは、 内勢力と化し、 侵略にたいす

松岡洋子さん、小門は氏が発言し、ベ平統、樺光子さん、宮岡敦雄氏 皮駿派労働運動の一大拠点技崎で

日に、安保粉砕の決慮をもって七。を、自らの指揮部を求め、革命「力で「武闘」を翻ったフロント、激義は、七〇年六月十四日という。屈服しない。人民は、新らしい党、う。しかし翌十五日に、渋谷で 意義は、七〇年六月十四日という 屋服 しない 人民は、新らしい党 六・一四の画期的成功の第一の それに絶望するのでなく、日帝に

一二集会が支え ことが表に関する。 で、会が過ぎると思いて、会が通ぎるとはたっと、ことは機能がある。 で、これでは、日本のないとは、日本

決戦・戦闘を担ったことがないと

安保決戦爆発の全成果を

この一戦に投入しよう

われわれ(三六・一四を成功言せ)をいを削し、日帝の後略もアスパ ック会議でさらに急ビッチとなっ は「七」群落建」をめぐ

なるのだ。日共との死間は一

トレーションである。われわれ

「革命党」であることを七万二字 | ML派は、その右親的戦略略線の左翼 こそ、七〇年代を指導する | 沢東主義への右魏的転答を強める 対 う。しかし要十五日に、渋谷で自かもない姿をとって彼らの没客を飾 ガ的な「武闘」路線の破綻を未開 大衆的爆発的高揚の過程から脱落 マル学問理論機関誌

67号 の全人民的激動創り出せ7 4・28を突破口に二ヵ月 最新号発売中!



(66号残部僅少 增剧準備中)

大・1 三は、六・「四に結集し 始っているのである。 七〇年代とうした願い方子 「社共に代る革命党」への実体と という姿を、具体的に

反戦高協機関誌 反戦高協 断固たるデモの貫徹によって、瞬

な問題を加え、あくさごも権力の権力は、われわれのデモに不当 う者の力強さをしめさればならな

いてぞくぞく結集し、即代音楽堂(高でのかつかいた金国など外であったが、参加者は潜をつ 部隊・万里十、そのほとから外外音楽堂でのはじめての墓共団 共間・子ど音を指すさる。

した。後間をものともせず、いたる

でよく組載化することで

突体を与

ならぬ

「社共に代る革命党」への期待

重大な責任を否めて受けるめれば

ンス・デモを繰返し、堂々と都心

その数は実に一万二子名に進し その間の た。この革共同集会への大精集と を文字とおり超続員にあってし

労働者、学生と聞う市民が聞い連

ためたととを示してい

く粉砕した。各大学のロック・ア 大統一行動は、これを破壊せん 民の力を印象づけた。 働者部隊が子、全 不の柱とし、 谷の解散地に着いたとき、また会

大学ペ平連と多彩な市場には三分の一に近い人々が出発

谷公園に結集した。 に機動隊の奪急囲を突破して上野

革命党派と革

命勢力の登場

強ともに、この大結集の中心を担

わが問盟が、最

を「アジア侵略を内乱へ」に鋭く 然然を「区域・区安保の意志 えればなられ。金体を見ればま

16号一五〇円

日本経典語で、高のである。
 日本経典語で、高のである。
 日本経典語で、高のでは、
 日本経典語で、高のでは、
 日本経典語で、高のでは、
 日本経典語で、高のでは、
 日本経典語で、
 日本経典語を
 日本経典

6 23 票統

23日明治公園 李 明治 中 紫

学生3時、労働者市民6時

- 松近急激に、反米震国路級=毛・線はぎでに明らかであり、西明を ・お願わなければよらなかった。 - 以来、アシア後略に同う日帝の路 ・ 以来、アシア後略に同う日帝の路

- との六・一四のق功は、革命的一

るがせられている。全軍労に続い で、沖縄全土で武装した「人民防 への実力反撃によって根底から揺の返還交渉は、人民の基地・米軍 ■ とを示した。六・1 言には、れれ 量が、敵の側圧を不可能とすると 許す枠内のなによじ込めんとして

いたは変わらることを実証さればないわれの総力を結集し、権力のいか らぬ。素手のデモでもわれ

年間、安保闘争などをい聞わず、

る闘いを開始するものである。 三に、こうした闘いに呼応し、日

て対決す

いるのだ。われわれの六・11

組織する強大な力を、との一戦に

礫川公園 (金た)位国電水道橋下車 (地下鉄丸の内線後条隊) になります

十日間の飼いの成果を、この一

変更の場合は 六・二三部万戦に一切の万を投

不当な打切りを許さず、実力で 百万の人民の滅で都心をうぬつ

明を粉碎し、日帝のアジア侵略を内乱に転化する怒りをこめて、この日、中核派は国会デモに決起した。6・2章共同大集会と6・14 し樺美智子同志の生命をもかけて聞いぬいた日だ。それからちょうど十年目の6・15――まさに六月安保決戦のさなか、日米共間斉 大統一行動の圧倒的高揚のうえに、白ヘル軍団のみが、断闘として裏正面から国会へむけての大衆的戦闘を闘いぬいたのである。

6・15——それは誕生まもない日本の革命勝左翼が安保阻止のために全人民の先頭にたって総決起し、国会南通用門から樗内に突入

国会へ!白ヘルが総決起

機動隊の阻止線を粉砕

七千名が突撃デモを敢行

なただただ機関強を大平射もで を加した機動隊は、連載をかけ

めとする数十名を暴力的に物挙しいかかり、先頭の旗手書談をはじ

十列繁瀬をもって柴壌をくりかえ | 狙って、前方から保護郷を乱羽しに管相管師と通ずる地点で再び五 | 大使郷まえにさしかかったときを| 「行進に移り、特許庁からアメリカ|

□ 5の考、指摘な点へと思うでは飲みまさなして、事金周辺・1つつるった様気の却でも発育」と新きなの進むを表現に加食物理・デキーの場合を表し、ないでは、多ちゃった。 □ 人力でも、とれるでは、一つで加り水をさなして、事金周辺・1つつるった様気の却でも発育」と新きなの連携を指摘に加食物理・対象の関係というな響となってきた。 □ 人力でも、これが、1年間とは、日本のでは、1年間というできた。 □ 人力でも、これが、1年間というできた。 □ 人力でも、これが、1年間というでは、1 した。大蔵省前を養しいシグザク

安田講堂前でも集会

明学大生の同志が失明 14日機動隊の暴行で 撃を加えてきた。この一撃で | 同志に、機動談はたおかつ族列か | 出血でタオルが寛永に築っている

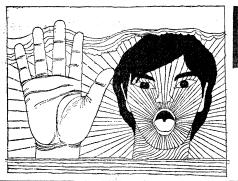
て、大衆的構造への坂を大きく・一五の唯一白へル部隊に主導

られますりだして単行を加えまう

われわればこの許しがたい暴害

発売中!

B5判180頁 定価400円



工器 10月

との闘いとの闘い 被告一覧田以来の らの報告 の仲間か 108羽 起集会の完全再録 2・17弾圧粉砕・ の詳細なレポートも関本の詳細ないる同志百人 命的意義について弾圧対策活動の革論文/教対活動・

った国家権力を激しく

集会かちとる 代表団南通門で

ころでラグザクアモを聞いとり、いたると

シをもって決起、漢字板で数千

代表団(団長=駅島全半連沖対部 をかちとったのである。

嚴粛に樺同志墓前祭

で全員監督のの古い、会社会学連委 地われた。 6・15女優会の古田県氏の司会 かれた。

当局と機動隊の検問を突破

千の中核派が東大を制

とるととを恐怖し、権力はデモコ

口 松尾真御記欠長の司会で集会は開 戦 で白へル部隊を中心に、全学連の一 と 教職員多数が続々と結集するなか。 と 教職員多数が続々と結集するなか。

て安阳講堂前広場に

六・一五夜、国会へのデモに決起した。

戦高級の代表団皆名は、固いスクラムを組んで南通州のハ・一五夜、国会へのデモに決起した全学道、反戦、反

法政•東工大•橫国大•京大•広大•九大

雅典工 /関東・北僧 11 23 24

10日~21日

粉碎集会 の全発言

(〒100) 革命的共産主義者同盟 弾圧対策委員会編 /前進社刊(東京都豊島区東池袋2-62-9)